

Title	藝文研究 既刊總目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学藝文学会
Publication year	1957
Jtitle	藝文研究 (The geibun-kenkyu : journal of arts and letters). Vol.7, (1957. 12) ,p.141- 142
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00072643-00070001-0141

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

藝文研究 既刊總目次

◇第一號（一九五一年）美術學特集

- 創刊の辭……………西脇 順三郎
- ミケルアンジェロの聖母……………守屋 謙二
- 光琳肖像考……………菅沼 貞三
- 江戸板木繪第一回の開花期……………澁 井 清
- 播磨國常福寺裏山經塚出土品に縁つて……………保坂 三郎
- 大佛師康助の遺作に就いて……………岡 直己
- Palazzo Pitti——その原作者の問題について——……………相内 武千雄

兼 報

◇第二號（一九五二—三年）

- 物語の成長——宇津保物語の場合……………池田 彌三郎
- 俳諧月花の座……………清崎 敏郎
- ジョン・セルタンのこと——その「茶話」をめぐつて……………藤 井 昇
- ジュリアン・グリーンの内心の旅路……………佐分 純一

- フッテンプロオク以前……………江澤 建之助
- 西ドイツ文學活動の展望……………田中 次郎

兼 報

◇第三號（一九五四年）

- 實用の文學——女と花……………森 武之助
- 住吉物語以後——繼子苛め譚の類型に關する一考察……………松本 隆信
- 聊齋志異研究序説——特に蒲松齡の執筆態度に就いて——……………藤田 祐賢
- Genecal Tradition の崩壞……………安原 基輔
- アンドレ・マルロオの「孤獨」……………大濱 甫一
- 北野天神縁起繪卷の諸特徴……………八代 修次
- クライストの悲劇性……………高橋 文雄

兼 報

◇第四號（一九五五年）

- 傳統の周圍——芭蕉・西鶴……………森 武之助
- 寺院僧侶の國典研究——主として中世をとりあげて——……………佐佐木 一雄
- 曾我物語傳承論……………塚崎 進

紅樓夢の小説性——周汝昌の「紅樓夢新證」をめぐって……………村松 暎

若きヘッセの人生態度乃至世界観……………井手 貴夫

反抗と絶望の黒人作家——Richard Wright……………安原 基輔

現代英文法の諸傾向——特に口語法について……………原澤 正喜

折口信夫教授講義題目……………原澤 正喜

慶應義塾大學所藏聊齋志異關係資料目錄……………原澤 正喜

樂報……………原澤 正喜

◆第五號（一九五五年）……………原澤 正喜

好色五人女——成立をめぐる試論……………檜谷 昭彦

近松世話物の考察（序）……………鈴木 昇

曾我物語傳承論——その二……………塚崎 進

紅樓夢論争に對する批判……………村松 暎

トーマス・マンのゲーテ観——「ヴァイマルのロツテ」を中心として……………小名木榮三郎

對話文學としての「ラモーの甥」——ディドロ研究……………小名木榮三郎

序説……………原 宏

資料紹介——「東洋之佳人」稿本、「繪入讀本外……………原 宏

……………原 宏

……………原 宏

……………原 宏

題作者畫工書肆名目集」寫本……………森 武之助

樂報……………森 武之助

◆第六號（一九五六年）……………森 武之助

明恵上人説話考……………佐佐木 一雄

稿本聊齋志異考勘記……………藤田 祐賢

曾國藩について……………佐藤 一郎

中國語に於ける品詞分類の標記について……………川本 邦衛

「漢語詞类論争」の問題點……………川本 邦衛

シエリーにおける神の問題……………瀬下 良夫

リルケ文學解明におけるハイテッガーの誤謬……………塚越 敏

アルベエル・カミュの思想と風土について……………片桐 邦郎

（ジャン・グルニエとの比較による一考察）……………片桐 邦郎

樂報……………片桐 邦郎

編集後記

◎本號も特定の主題に限らない研究業績の集積です。

◎會員の活動狀況は、なるべく多く記載したいのですが、委員だけでは調査が行届きませんから、たえず御連絡下さい。

◎第一―第六號の購入を御希望の方は、本會事務所に御照會下さい。

い。（各號定價二〇〇圓、送料二四圓）